

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	雑貨デザイン実習 1	
科目基礎情報					
開設学科	プロダクトデザイン科	コース名	全コース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	60時間
単位数	2単位	開講時間	木曜1時限～	授業形態	実習
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
担当教員情報					
担当教員	加賀武見		実務経験の有無・職種	有・プロダクトデザイナー	
学習目的					
幅広く雑貨デザインの知識と技術を学ぶ。 雑貨デザインに関する基本的なスキルを習得し、マーケットリサーチ・アイディア展開・スケッチスキル・試作製作に関する技術考え方を習得する。					
到達目標					
複数種類の素材・テーマの雑貨デザインを行う上での技術知識を習得することを目標にする。					
教育方法等					
授業概要	プロダクトデザインのなかでも比較的ライトな雑貨デザインの意味や位置づけ、考え方などを学ぶ。モノ、コトの成り立ちを知るとともに、経済的側面、生産的側面を考慮しながら課題を進める。各種要求項目、および設計条件を割り出し、それに則ったイメージづくりからアイディア展開、モデル化、の流れを経験し、スケッチワークやモデリングワークにおける造形表現手法を学習する。雑貨で使用する代表的な素材を複数体験する事で表現力の幅を広げる。				
注意点	工具・機具を使用した模型製作時怪我をしないよう注意して進める。スケジュールに則り、プレゼンテーションに遅れの出ないように学生自身がマネジメントして進める。制作内容により作業着、作業用具、各種材料が必要になる。やむを得ず欠席した場合、すぐに担当教員か補助員に相談し授業の流れに遅れないよう注意すること。授業時限数の3/4以上出席しない者、未提出課題がある者は不合格とする。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する		
	課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する		
	リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	ガイダンス		雑貨デザインの概念・ルールについて理解し、今後のプログラムに当てはめて活用できるようになる		
2回	雑貨デザイン企画（紙の雑貨）1		練習課題を通じ新しい紙を使った雑貨の企画を立てる事が出来る		
3回	雑貨デザイン企画（紙の雑貨）2		紙の雑貨の素案を基にアイディアを発展できる		
4回	雑貨デザイン企画（紙の雑貨）3		発展させたアイディアを基に完成度を高めた作品を仕上げる事が出来る		
5回	雑貨デザイン企画（紙の雑貨）4		価格等含めた販売プランをプレゼンテーションできる		
6回	雑貨デザイン企画（木の雑貨）1		練習課題を通じ新しい木素材を使った雑貨の企画を立てる事が出来る		
7回	雑貨デザイン企画（木の雑貨）2		木素材の雑貨の素案を基にアイディアを発展できる		
8回	雑貨デザイン企画（木の雑貨）3		発展させたアイディアを基に完成度を高めた作品を仕上げる事が出来る		
9回	雑貨デザイン企画（木の雑貨）4		価格等含めた販売プランをプレゼンテーションできる		
10回	雑貨デザイン企画（樹脂の雑貨）1		練習課題を通じ新しい樹脂素材を使った雑貨の企画を立てる事が出来る		
11回	雑貨デザイン企画（樹脂の雑貨）2		アクリルやレジン等複数種の樹脂素材の特性を実習を通じて理解できる		
12回	雑貨デザイン企画（樹脂の雑貨）3		樹脂素材の雑貨の素案を基にアイディアを発展できる		
13回	雑貨デザイン企画（樹脂の雑貨）4		発展させたアイディアを基に完成度を高めた作品を仕上げる事が出来る		
14回	雑貨デザイン企画（樹脂の雑貨）5		マスターモデルを基に複数個の複製サンプルを作る事が出来る		
15回	プレゼンテーション・講評		作品をプレゼンテーション。データに基づいた具体的・効果的なプレゼンが出来るようになる		